



外国出張報告書

平成 25 年 9 月 30 日

1. 出張国名 ガーナ
2. 出張月 平成 25 年 9 月
3. 出張目的 保全農業作付け体系下における昆虫相評価

4. 成果の概要

一期作目試験圃場の設定と実験方法について共同研究者と再度協議し、降雨が少ないことにより収穫はやや遅れ気味だが実験が順調に進んでいることを確認した。播種 1 ヶ月後にマルチ区でバッタ類やメイ虫類による被害跡が多く見られたものの、マルチ区では非マルチ区に比べてトウモロコシの生育が良く、害虫の影響は出なかった。上記のように収穫が遅れたことから二期作目の作付けが後にずれ、二期作目の幼苗期の害虫類について視察できなかった。一期作目の植物残渣とするために通年栽培しているキマメは、降雨が少ないこともあり大きくなり、害虫の住処になる心配は少ないと感じた。